

# 里山で危険な生物

## スズメバチ

ハチの中でも比較的大型の種が多く、  
性質はおおむね攻撃性が高い



## ドクツルタケ

針葉樹林のアカマツ林、ト  
ウヒ林、広葉樹林のコナラ  
林、クヌギ林などで夏から  
秋にふつうに見られる



## テングタケ

針葉樹林のアカマツ林、トウヒ林、  
広葉樹林のコナラ林、クヌギ林な  
どで夏から秋にふつうに見られる



## セアカゴケグモ

咬まれた部位は、激しい痛みを感じ、  
腫れ、全身症状(痛み、発汗、発熱  
など)が現れる。



## キツネノボタン

水田周辺の水路や溝、畦などに生育



# 里山で危険な生物

## ヤマカガシ

激しい痛みや腫れはあまり起こらないが、噛まれて30分後ぐらいから、全身の血液が凝固能力を失い、全身に及ぶ皮下出血、腎機能障害等が起こる



## ウルシ

ハゼの木と同じで、樹液にふれるとかぶれるので、注意が必要



## ハゼの木

葉っぱをちぎったり、枝を折ったりすると出る樹液がかぶれの原因になるので、触らないように注意が必要

## ニホンマムシ



# 里山で注意すること

※ 素手でさわらないようにする

## □ ツツガムシ

幼虫に吸着され、体内に病原体が入ったときにだけ発病する（つつがむし病）  
症状は、ひどい風邪とにている  
身体がだるく食欲がなくなり、ひどい頭痛や寒気と高熱がでる  
4、5日目に赤褐色の発疹が現れる



## □ マダニ

チクリとし、赤くはれる かまれると何日も離れないことが多い

## □ ハチ

激痛があり、赤くはれる。  
スズメバチでは死ぬこともある

注1) 香水やオーデオロン等の芳香品はハチが好む匂いなのでつけない  
注2) 近づいてきても手で追い払わない

## □ ブユ・アブ・カ

チクリとした痛みがあり、かゆみが激しい。 防虫剤を塗って防ぐ



□ ドクガ・イラガ  
幼虫の毒針毛にふれると、痛みと激しいかゆみを感じる



□ ムカデ  
激痛を感じ、赤くはれる



□ ヤマビル  
血が止まらないので、圧迫して止血する痛みはあまりない